



みらいっうしん

9月号

2023年9月1日
田園調布学園大学
みらいこども園
園長 勝浦 芳子



【生きる力を育てる為に】

立秋を迎え、ようやく夏の暑さの折り返し地点を過ぎ、頬を伝う風が少しずつ秋の訪れを感じさせています。今月は、残暑や台風等の影響で不安定な天候が予想されますので、引き続き体調には十分お気をつけください。

さて、8月は例年のない猛暑で熱中症アラートが発令されたり、局地的な大雨が降ったりと異常気象の影響で、夏風邪や新型コロナ感染症にかかった方が後半にかけて増えてきました。こども園でも、園児、保護者、職員と感染者が確認され、未だに新型コロナウイルスの感染は収まっていないようです。

そんな中、園に通う子ども達は、夏ならではのプール・水遊びをはじめ、園庭や保育室で好きな遊びを満足するまで楽しんでいました。遊びを見ていると、夏休みに体験した内容を取り入れていることが多く、子ども達にとって、遊びは生活そのものなのだなぁと感じるほど、個人の生活体験が取り入れられ、たくさんの物事を学習していることが分かりました。子どもの観察力は、大人が考えている以上に高く感心させられます。

今年も、行動制限のない夏休み期間ということもあって、どこもかしこも人で溢れていましたね。子ども達からも、「おじいちゃんおばあちゃんに逢いに行ったよ」「温泉に泊まった！」「新幹線に乗った！」「大きいプールに行ったよ」「花火したよ」「どこにも行かなかったけどパパとママと遊んだよ」等々、夏休みに体験した沢山のことをうれしそうに話してくれるお子さんもいて、それぞれが夏の季節を通して、一回り大きく成長したように感じます。この普段体験できない経験や感情は、きっと、これからの子ども達の生活に豊さを与え次へのステップの土台になると思います。

明日から、1号認定のお子さんを迎え、2学期がスタートしますが、今後も、大切なお子さんの命をお預かりしておりますので、今までと変わらず体調観察を徹底し、教育・保育を進めて参ります。お子様の成長は、家庭教育も重要ですので、親子のコミュニケーションの取り方や絆を深めていただき、将来を担う子どもたちを周囲の大人が手本となって一緒に「生き抜く力の基礎」を育てていきましょう。2学期は、行事も多く子ども達が、それぞれの力をステップアップする大切な時期です。一人一人の興味・関心に気づき“やってみよう”という気持ちを十分に満足させるために多くの体験が出来るように考えていきたいと思っています。この乳幼児期に培ったものが、将来、自分で生きていける力に反映していけることを心から願います。

